

高耐荷重プリンタラック スライド式

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいませようお願いいたします。
また、本書を大切に保管して下さい。

組み立て時のご注意！



注意

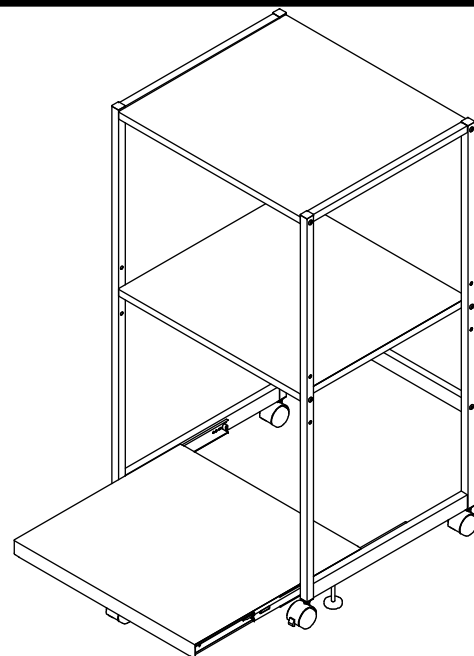
- 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
 - 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
 - 工具類の取り扱いには、十分ご注意下さい。
 - 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
 - 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立たない場合があります。
 - 組み立て手順に従い、ネジ等で確実に止めて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

使用時のご注意！



注意

- スライド棚を押し引きする際は、なるべく棚の前中央を持って均等に動かして下さい。片寄った状態で無理に動かすと、スライドレールが変形・破損する恐れがあります。
 - 本製品に乗ったり、重いものを引っ掛けたり、耐荷重以上のものを載せたりしないで下さい。転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
 - 高温のものを直接当てたりしないで下さい。塗装面が変色したり、剥がれることがあります。
 - 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり変色したりすることがあります。
 - 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
 - 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- ※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。
- 以下、キャスターをご使用時の注意
- ★ 運搬目的では使用しないで下さい。転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ 段差等は、本製品を引っ張り上げるようにして越えて下さい。無理に段差等を越えますと、転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ カーペット上で移動させる場合は、必ずゆっくりと行って下さい。転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ キャスターのストッパーをロックした状態で、無理に移動させないで下さい。破損の原因になります。
 - ★ キャスターは消耗品です。破損したり、異常が発生した場合は、すぐに使用を止め、新しいキャスターに交換して下さい。
 - ★ キャスターのネジは、定期的に締め直して下さい。緩んだままで使用しますと、転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。

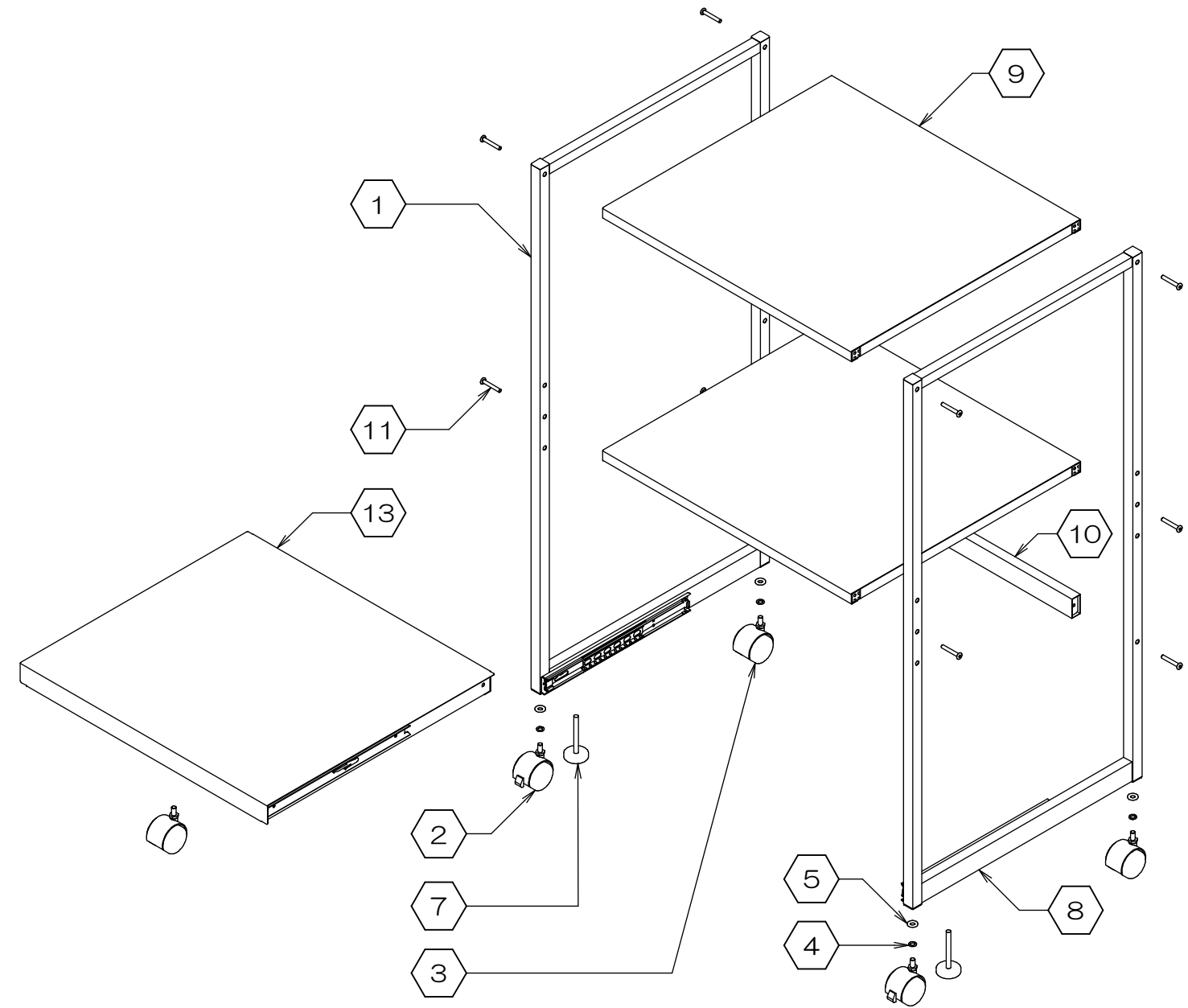
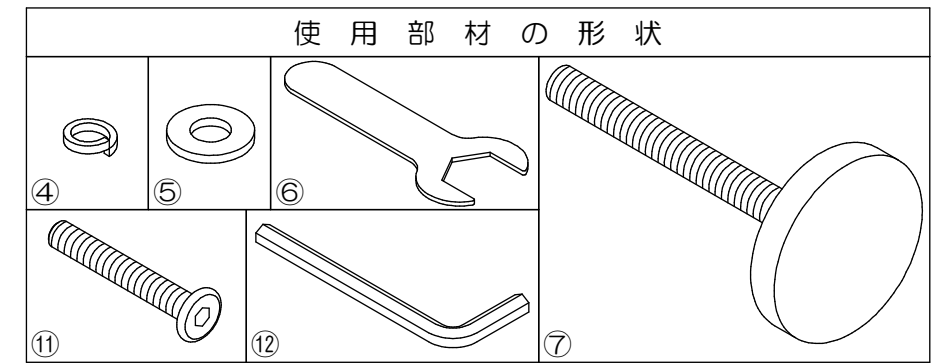


製品仕様 外形寸法：幅665mm×奥行595mm×高1152mm 重量：18.7kg
耐荷重：天板・中板＝等分布40kg、スライド棚＝等分布50kg
主要材料：スチール
表面処理：パウダー塗装

Made in Taiwan
B1517-R2

組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

項目	部品名称	数量
1	左フレーム	1
2	キャスター(ストッパー付)	2
3	キャスター(ストッパー無)	3
4	スプリングワッシャ	4
5	平ワッシャ	4
6	スパナ	1
7	アジャスター	2
8	右フレーム	1
9	棚板	2
10	ジョイントパイプ	1
11	ネジ(M6x40)	10
12	六角レンチ	1
13	スライド棚	1

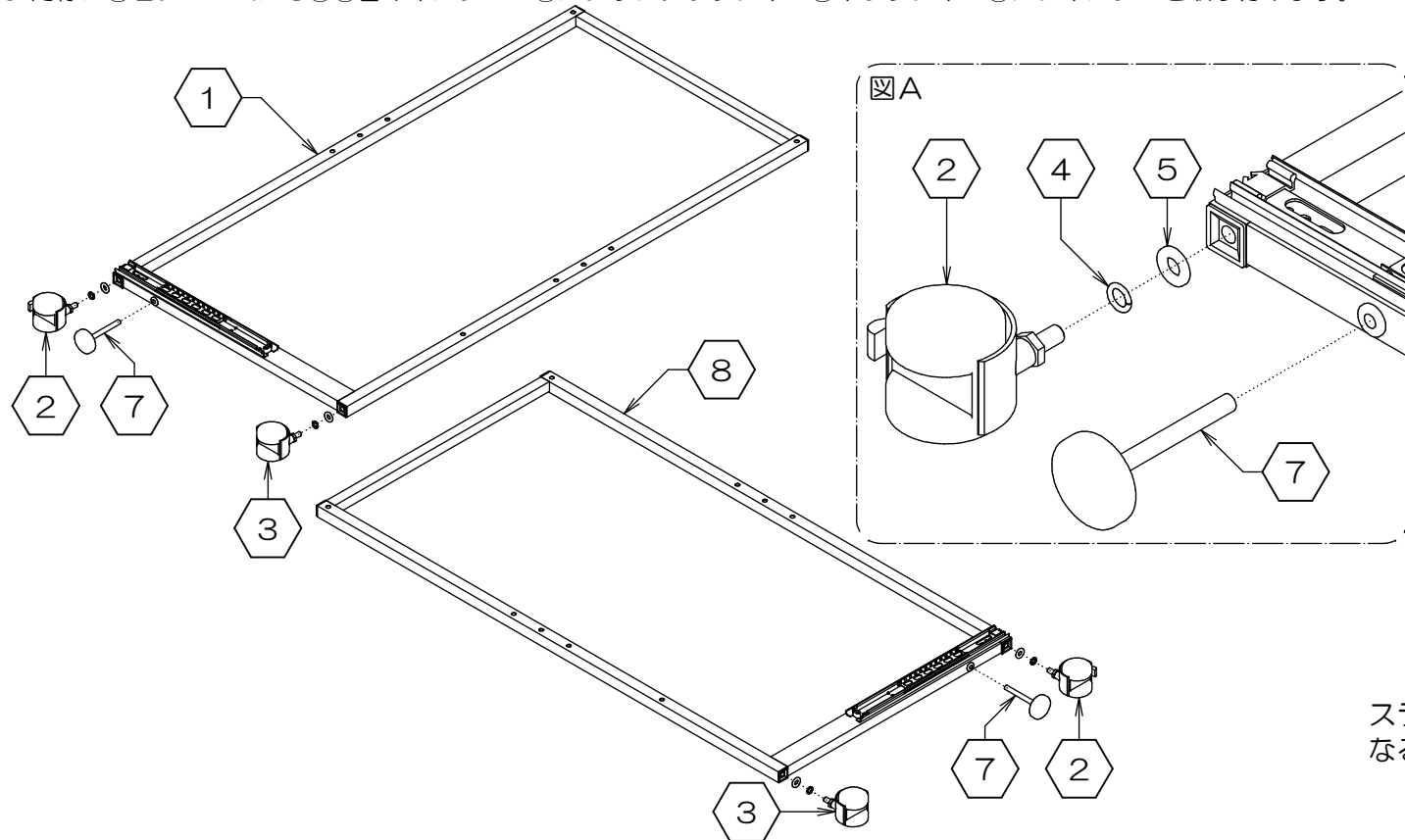


お問い合わせ先
販売元：有限会社 P・G GLORIA 06-6766-2575
製造元：株式会社 林製作所 072-960-0500
〒578-0925 大阪府東大阪市稲葉1-4-50

12-003MH

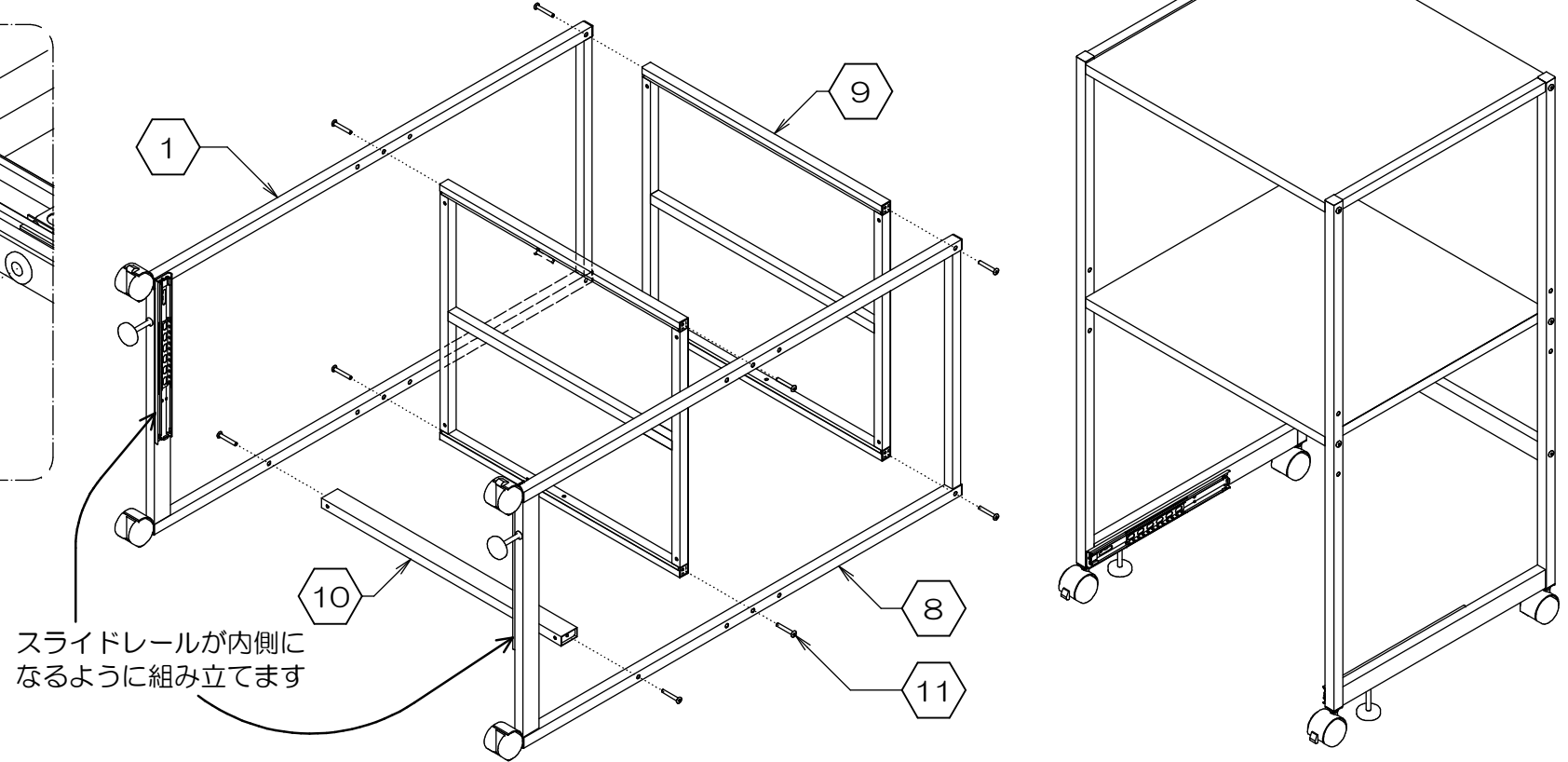
1. フレームの準備

- 図Aを参考に、①左フレームに②③各キャスター・④スプリングワッシャ・⑤平ワッシャを付属の⑥スパナでしっかりと取り付けます。
- ①左フレームに、⑦アジャスターを取り付けます。
- 同様に⑧右フレームにも②③各キャスター・④スプリングワッシャ・⑤平ワッシャ・⑦アジャスターを取り付けます。



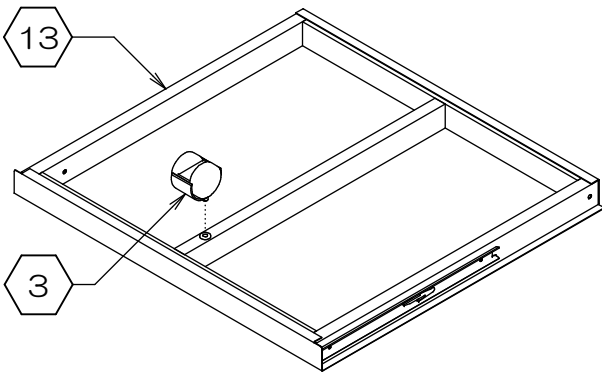
2. 本体の仮組み

- ※ 図のように、後へ倒して組み立てると作業が容易になります。
- ※ スライドレールが内側になるように組み立てます。
- ※ 中段の棚板は、3段階からお好みの高さを設定できます。
- 前項で準備した①⑧左右のフレームと⑨棚板2枚・⑩ジョイントパイプを⑪ネジ10本で仮留めします。(付属の⑫六角レンチをご使用下さい)



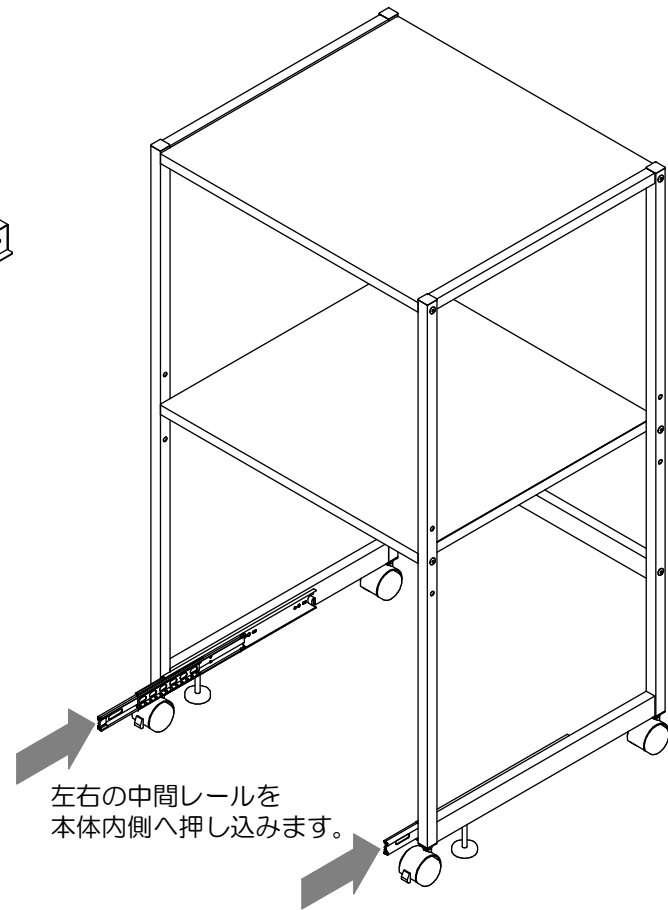
4. スライド棚の準備

- 下図を参考に、付属の⑬スパナを使用して⑬スライド棚に⑬キャスター(ストッパー無)をしっかりと取り付けます。
- ※ ④スプリングワッシャ⑤平ワッシャは使用しません。



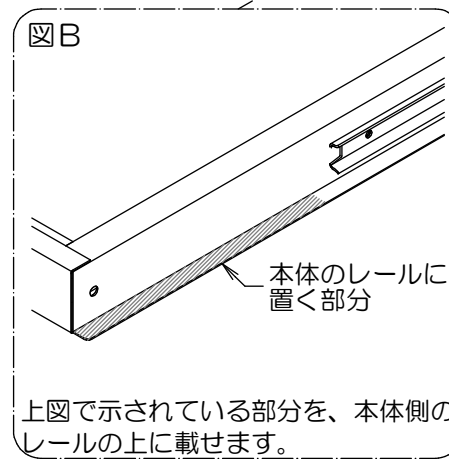
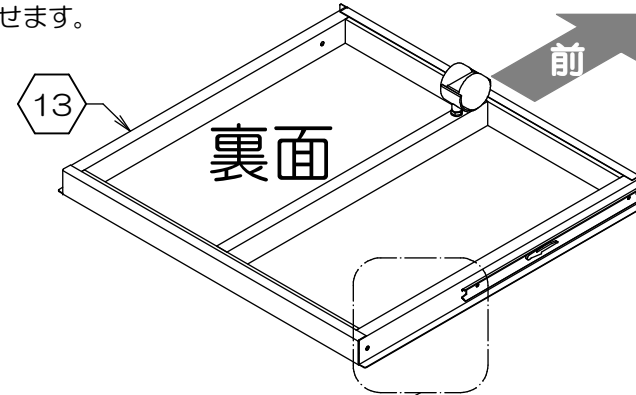
5. スライド棚の取り付け I

- ※ スライドレールには潤滑油が塗布されておりますので、軍手を着用して作業を行って下さい。
- まず最初に、中間レールが本体から飛び出している場合は、内側へしっかりと押し込んで下さい。



スライド棚の取り付け II

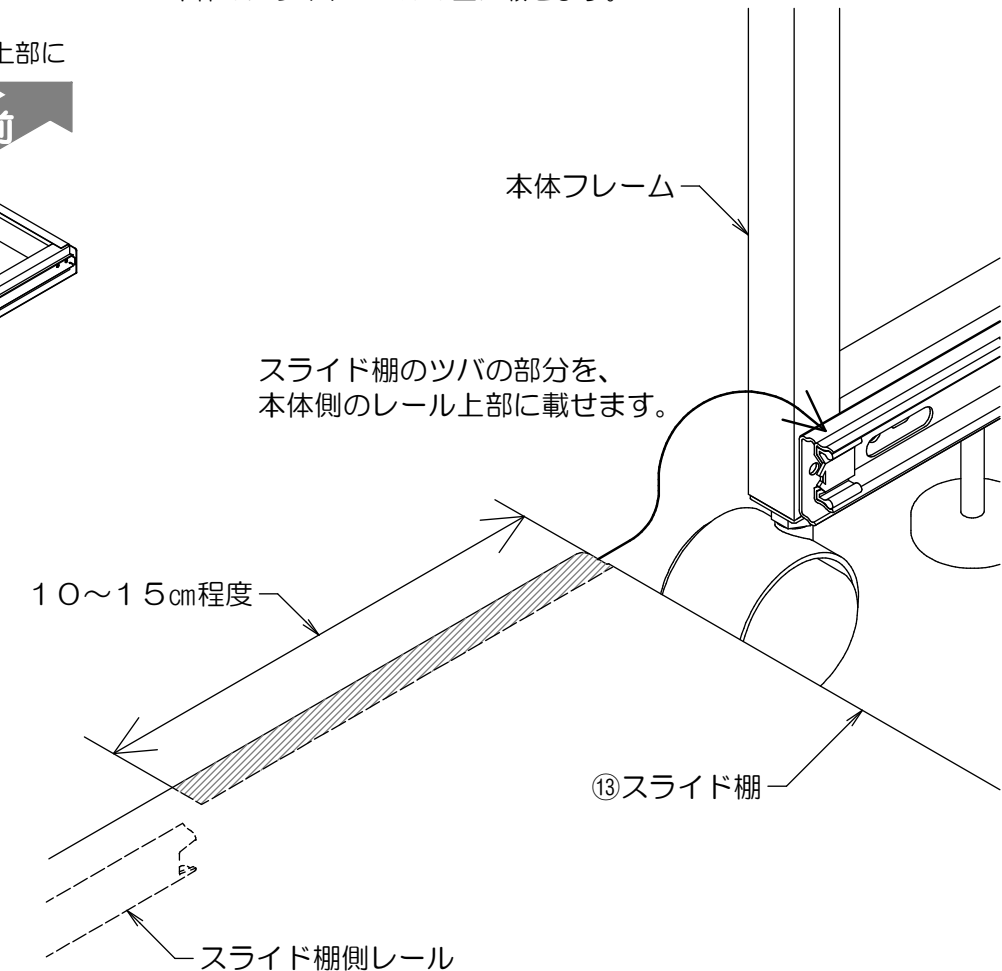
- 本製品は、⑬スライド棚を取り付ける際のレール位置合わせが簡単に行える構造になっています。
- ⑬スライド棚の裏面を確認します。図B内で示した斜線のツバ部分を、本体側のレール上部に載せます。



上図で示されている部分を、本体側のレールの上に載せます。

スライド棚の取り付け III

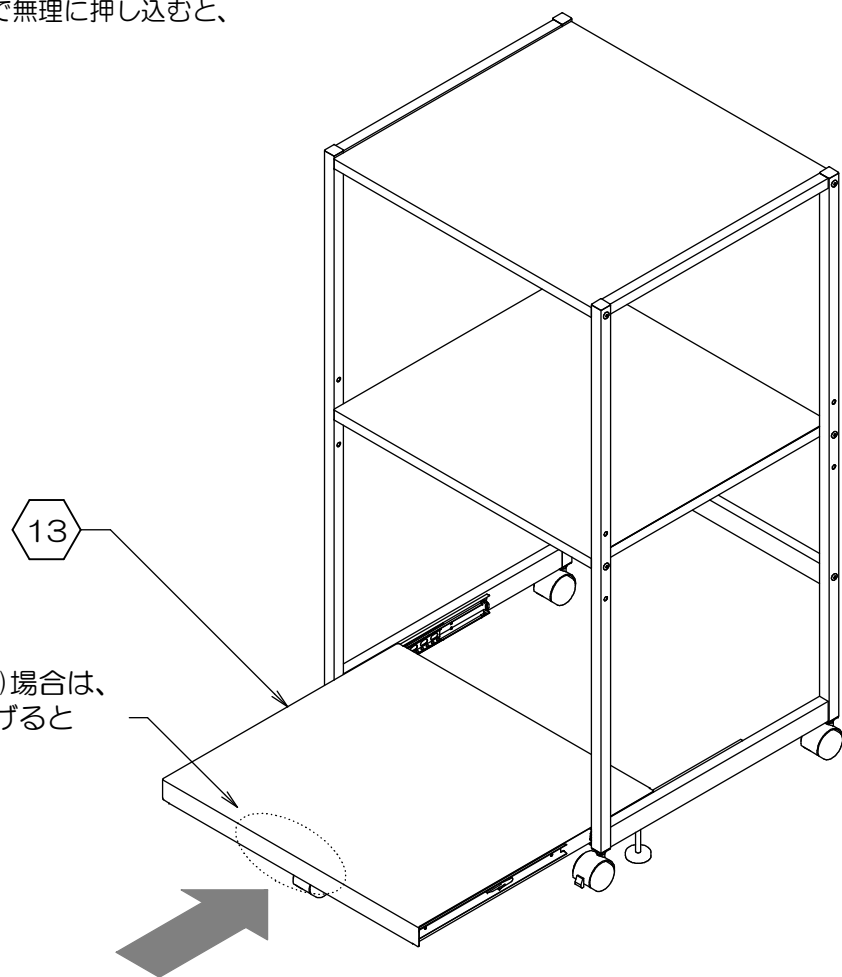
- ⑬スライド棚の表面を上にし、前項で確認した部分の10~15cmほどを、本体のスライドレールの上に載せます。



スライド棚の取り付け IV

- ⑬スライド棚を水平にゆっくりと真っ直ぐ押し込んでいきます。
- 半分ほど押し込んだところで、カチッという音が左右のレールから聞こえます。その後途中で何度か硬く止まることがありますが、引く→押すを繰り返し、奥までしっかりと押し入れて下さい。
- ※ レールをうまくセットできない(硬い)場合は、⑬スライド棚の前部分を少し持ち上げると取り付けやすくなります。

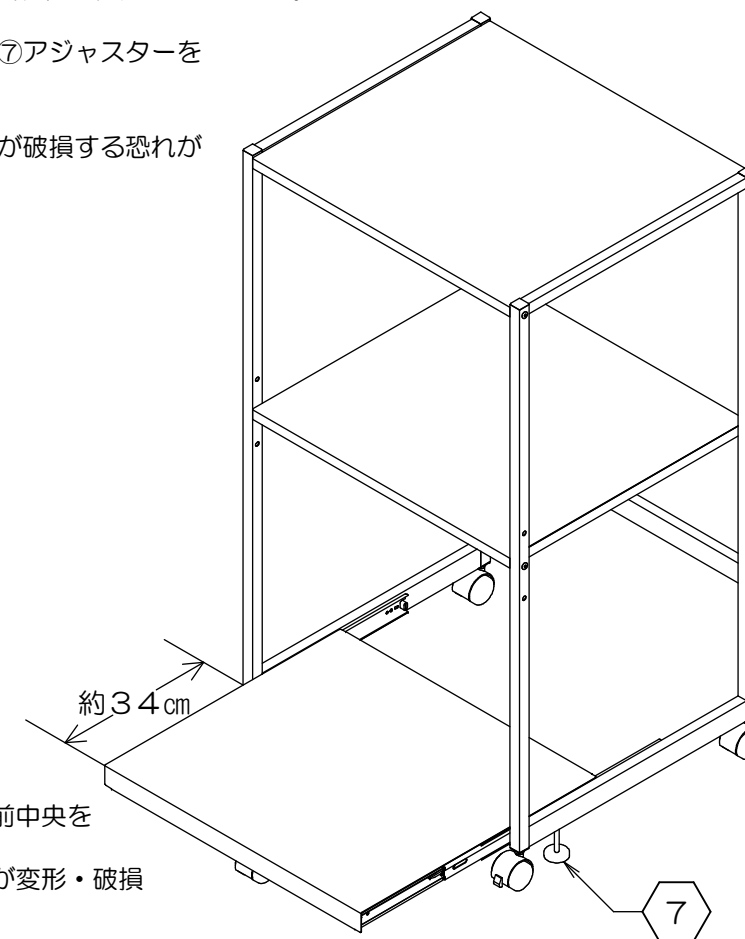
※ レールがうまくセットされていない状態で無理に押し込むと、レールを破損する恐れがあります。



※レールをうまくセットできない(硬い)場合は、⑬スライド棚の前部分を少し持ち上げると取り付けやすくなります。

スライド棚の取り付け V

- 一度奥まで押し込むと、その後はスムーズに出し入れが出来ます。
- ⑬スライド棚の可動寸法は約34cmです。
- ※ 可動寸法に満たない・可動寸法よりも出してしまう・奥まで差し込んでもまだスムーズにスライドできない。これらの状態が生じた場合は、レールがうまくセットされていない可能性がありますので、[スライド棚の取り外し方法]を参考に⑬スライド棚を取り外し、再度[スライド棚の取り付け I]から作業をやり直して下さい。
- ⑬スライド棚を開閉すると本体も一緒に動いてしまう場合は、⑦アジャスターを手でまわし床に軽く当たるよう調節して下さい。
- ※ ②キャスターが浮き上がらない程度にして下さい。
- ⑬スライド棚の重量がスライドレールに掛かり過ぎて、レールが破損する恐れがあります。



※ ⑬スライド棚を押し引きする際は、なるべく棚の前中央を持ってゆっくりと均等に動かして下さい。片寄った状態で無理に動かすと、スライドレールが変形・破損する恐れがあります。

スライド棚の取り外し方法

- ⑬スライド棚を引き出します。
- スライドレールにある黒いレバーを見つけます。
- 本体左側のスライドレールはレバーを上へ上げ・本体右側のスライドレールはレバーを下へ下げます。
- 左右のレバーを操作したまま、ゆっくりと引き出します。

